

TOYO TANSO
Inspiration for Innovation



第67期 株主通信

2008年6月1日～2009年5月31日

証券コード 5310



TOYO TANSO

Inspiration for Innovation

CONTENTS

ごあいさつ	2
特集 ～東洋炭素を支える独創的な技術開発力～	3
高機能カーボンはこちら!	7
財務ハイライト	8
営業の概況	9
連結財務諸表	11
地域別の概況	13
会社情報・株式情報	14

成長軌道の回復に向けて

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第67期株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におきましては、金融危機深刻化の影響が实体经济に波及し、設備投資や輸出が急減する等、特に後半にかけて景気は急速に悪化し、世界規模で需要が大幅に減退し、総じて世界同時不況の様相を呈するに至りました。

このような状況の中、当企業グループでは、環境・エネルギー関連分野を中心に国内外の需要の取り込みに全力を注ぎましたが、年度後半は、各用途・地域・企業におよんだ急激かつ大幅な生産・在庫調整の影響を受けました。この結果、当連結会計年度の業績につきましては、特に後半における需要急減にともなう販売・生産の落ち込みに、原材料価格の高止まりや円高の影響も加わり、上場来初めての減収減益を余儀なくされました。

今後につきましては、各国の経済対策効果等により一部回復の動きはあるものの、不安定要素もあり引き続き厳しい経営環境が予想されます。一方、中長期的には環境・省エネルギー志向を背景に、太陽電池用が再び成長軌道へ戻るとともに、原子力・LED分野等の拡大期待も含め、高機能カーボンへの需要は着実に伸張し、その動きは年度後半から徐々に顕在化するものと見ております。

このような経営環境の変化に対し、迅速な意思決定と機動的な業務執行を図るため、本年の定時株主総会後の取締役会において、代表取締役の体制を変更し、前代表取締役社長の近藤純子が代表取

締役会長に、前代表取締役副社長の近藤尚孝が代表取締役社長にそれぞれ就任いたしました。

新たな体制のもとに、足元においてはコスト圧縮等の効率化・合理化施策を推進するとともに、先を見据えた高成長分野への展開と生産能力の増強を貫徹し、景気回復時への備えを進めてまいる所存でありますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2009年8月

代表取締役会長

近藤 純子

代表取締役社長

近藤 尚孝



革新へのひらめきがそこにある ～Inspiration for Innovation～

東洋炭素を支える

独創的な技術開発力

当社は創業以来、「どこにもないモノをつくる」という信念のもと、無限の可能性を秘めた炭素に挑戦し続け、画期的な炭素製品を世の中に送り出してきました。

私たちがコーポレートスローガンとして掲げるInspiration for Innovationには、脈々と受け継がれてきたこの東洋炭素のスピリットがこめられています。

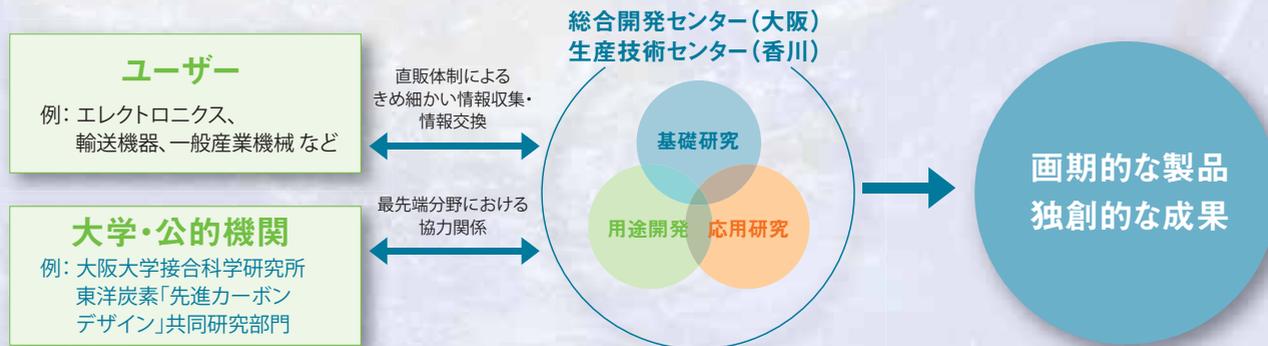
今号の特集では、当社の成長の原動力とも言える研究開発への取り組みをご紹介します。

研究開発の源泉

当社では製品販売において直販体制を敷いております。直接ユーザーと接することにより、ユーザーの声を直に聞くことができ、きめ細かいニーズに迅速に対応するなかで、業界をリードする数々の成果を生んでまいりました。それだけに留まらず、当社が長年培ってきた独創的な技術力を武器に、新しい分野の開拓、そして革新的な製品開発への挑戦を日々続けております。

研究開発体制

当社の技術開発は大阪の総合開発センター、香川の生産技術センターの2拠点を中心に、「基礎研究」「応用研究」「用途開発」の各領域にわたり、バランスの取れた研究開発を進めております。また、大学や公的機関との交流や共同研究を積極的に行い、産学官の連携も深めております。

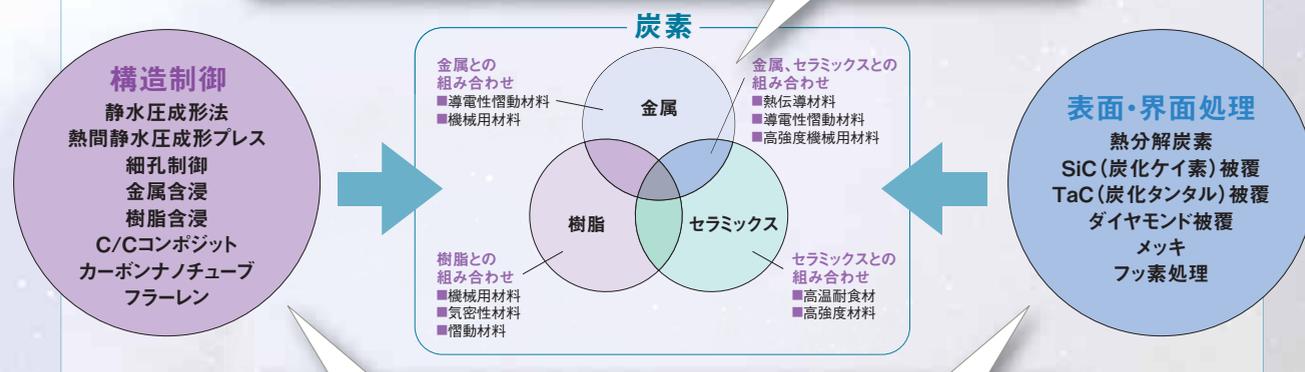


研究開発のアプローチ

一口に研究開発と言ってもその対象や捉え方により様々な観点から見ることができます。
ここでは当社の研究開発について、よりわかりやすく理解していただけるよう
「素材」「要素技術」という観点からご説明いたします。

「素材」からのアプローチ

当社は炭素メーカーですが、炭素だけを研究しているわけではありません。炭素の欠点を補い、炭素本来の力を100%引き出すことができるように、セラミックスや金属、樹脂などの炭素以外の物質との組み合わせも研究しています。これらを炭素と組み合わせることにより、「軽さ」「熱の伝えやすさ」「高温への耐性」「強度」といった炭素本来の特性を究極まで引き上げる努力を積み重ねています。



「要素技術」からのアプローチ

素材の研究はもちろん重要ですが、その素材の性質を最大限に発揮させるためには、素材をコントロールする技術が重要になってきます。素材自体の構造を制御することにより素材の性質を変化させる「構造制御」と、素材表面を処理することにより新たな機能を付加する「表面処理」、これらの要素技術を追求することにより、さらに高機能な製品の開発を目指しております。

素材研究による素材特性コントロール、要素技術研究による素材特性の向上、
これらの組み合わせによりさらに高い機能を持った製品の開発を推進してまいります。

これまでご紹介してきましたように、当社は素材からのアプローチにより炭素だけに留まらず金属や樹脂などの組み合わせを追求するとともに、要素技術からのアプローチにより素材のもつ性質を最大限に発揮させることによって、高機能な製品の開発を進めております。

ここではその中の一例として、「炭素の穴」に着目した研究についてご紹介させていただきます。

【事例紹介】炭素の穴を極める

～炭素の穴のはたらき～

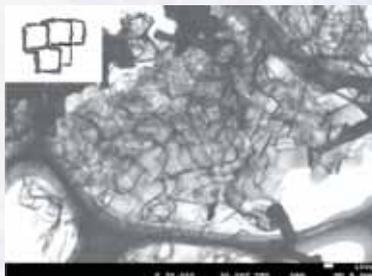
炭は古くから煙の少ない燃料として料理や暖房に使われてきましたが、最近では炭を使った水の浄化や消臭に注目が集まっています。これは炭の中にある小さい穴(孔)が汚れを吸い取る働きを利用したものです。このような機能を持つ炭素材料として多孔質構造を特長とする多孔質炭素の活性炭が有名ですが、当社では炭素材料の中にある穴を自在にコントロールして、活性炭をはるかに凌駕する次世代の高機能細孔制御炭素材料の開発を進めています。この細孔制御炭素の用途は幅広く、環境、エネルギー、バイオ、医療、エレクトロニクス、ITなど社会のあらゆる場面での利用が想定されます。



～自由自在に穴をコントロール～

■型抜きで穴を作る

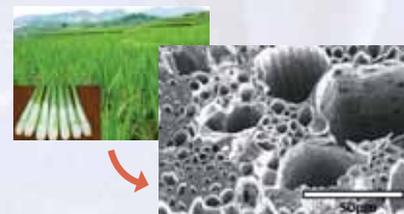
穴の型になる小さな粒を炭素に混ぜ込み、その後その小さな粒を溶かしたり、焼いたりして取り除きます。すると、炭素の中には粒の形をした穴がきれいにできあがります。この方法では、混ぜる粒の選択により穴の形や大きさを自在にコントロールすることができるだけでなく、いろいろな形の穴を一度に開けることも可能になります。



▲四角い粒で四角い穴をつくる

■自然を利用して穴をつくる

動物の骨、昆虫の羽根、植物の葉や茎などは、人工的に作ることが難しい独特の構造を持っています。生物の組織から作った炭素材料にはこのよう特殊な構造の穴が残っており、大きい穴と小さい穴のつながり方がちょうど汚れをとるのに適していたり、光を効率よく集めやすい構造を利用して酸化チタンによる光分解の効率を上げたりする効果があります。



▲生物の構造を利用して多孔質炭素をつくる

■あとから穴をあける

炭素の塊に、あとから無数の小さい穴を開けることを、賦活(ふかつ)といいます。活性炭はこの方法で作られており、一般的には高温下で二酸化炭素や水蒸気による処理を行うことにより穴を作ります。

～多孔質炭素の働き～

【汚れを取り除く】

汚れを効率よく取り除くためには、大きい穴と小さい穴の組み合わせが重要になってきます。穴が大きすぎると汚れが通り抜けてしまい捕まえることができず、小さすぎると詰まってしまうため、大きい穴で汚れを奥まで誘い込み小さい穴で捕まえる必要があります。捕まえたいものによって穴の大きさが変わってきます。言い方を変えれば、穴の大きさをコントロールすることにより、水の汚れ、花粉、ウイルス、排気ガスなど対象物を的確に捕らえることができるようになるのです。



▲大きい穴を通して、
小さい穴で汚れを捕らえる

吸着

【液体・気体を流す】

炭素はもともとすべりの良い材料ですが、穴をたくさん作ってそこに潤滑油を蓄えることで、さらにすべりが良くなります。また、エアホッケーと同じ原理で、小さな穴からガスを吹き出すことですべりを良くすることができます。高温で使用できる、電気を流せる、そんな炭素の特長と摩擦の小ささを活かしてベアリングやモーターのブラシに利用されています。エネルギーのロスを抑え、少ないエネルギーで大きなものを動かすことに貢献することで、省エネの一翼を担っています。



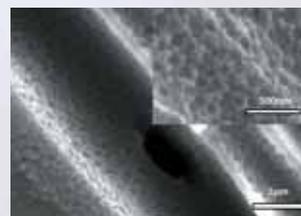
▲潤滑油ですべりを良くする



▲ガスを吹き出すことですべりを良くする

【表面積をひろげる】

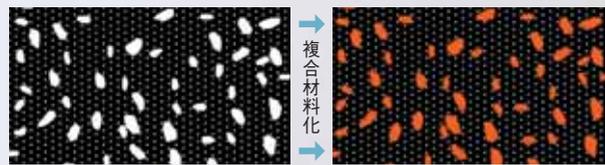
産業の最先端で使用される物質は表面積を広げることにより、より大きな効果を発揮するものが多くあります。光のエネルギーで汚れを分解する酸化チタンなどがその例ですが、表面積を大きくするためにデコボコの表面を持つ材料(これを担持材料といいます)の表面に薄く分散させて使用されています。細孔制御炭素材料はこのような担持材料に最適です。例えば、1cmの大きさのサイコロの表面積は6cm²ですが、同じ大きさの細孔制御炭素の表面積は小さな無数の穴のおかげで、なんと1千万cm²(量約600枚分)以上になります。この表面に酸化チタンを薄く広げれば汚れの分解能力が格段に向上します。



▲酸化チタンを薄く広げる

【複合材料の素材になる】

多孔質炭素の穴には色々なものを詰めることができます。この詰めるものによって強度が増したり、熱を伝えやすくなったり、炭素の持つ性質をさらに高めることや、新しい性質を付加することが可能になります。穴を制御するということは、炭素との複合材料を自由に設計できるということになります。複合材料化によって、これまで炭素材料が使われなかったような新しい分野でも炭素材料が使われるようになるかもしれません。



▲複合材料化により、これまでにない強さ・熱伝導率を付加する

～私たちは炭素の可能性を追求し続けてまいります～

今、炭素の可能性はますます広がっています。

東洋炭素の技術、そしてその技術により生み出された製品は、半導体、太陽電池、宇宙航空、医療用途など、最先端テクノロジー分野にも幅広く採用され、世界中の人々の暮らしを豊かにし、より快適で地球に優しい社会を実現することに貢献しています。

これから私たちは、新技術の開発、そして長年にわたって蓄積してきた技術をさらに新しい分野で発揮するべく挑戦を続けてまいります。

シリーズ



カーボンブラシ編

創業のきっかけであり、現在に至るまで当社の主要製品のひとつとして挙げられるのがカーボンブラシです。当社にとってはとても馴染みの深い製品ですが、どんなところでどんな役割を果たしているのでしょうか。今回はこのカーボンブラシについてご紹介します。



カーボンブラシが使用されている身近な製品として家庭用掃除機が挙げられます。掃除機の吸引力はモーターが回転することにより発生しますが、これはカーボンブラシを導体として電気を流すことでモーターの回転運動が発生し、吸引力が生まれるという仕組みです。直接目にするには殆どありませんが、カーボンブラシは掃除機の機能を担っている重要な部品なのです。

家庭用掃除機における当社のカーボンブラシの使用比率は海外で約4割、日本国内では約8割とかなりの割合を占めています。これほどまでに当社のカーボンブラシが使用されるに至った理由の一つは超高速回転に対応する素材の開発に成功したこと、そしてもう一つはメッキブラシの開発に成功したことです。特にこのメッキブラシの開発が当社のカーボンブラシの使用比率を一気に引き上げる要因



となりました。メッキブラシとはカーボンブラシに電気伝導性の高い金属を被覆したものですが、これを使用することによりブラシの電気抵抗は従来の10分の1以下にまで下がり、無駄なエネルギーとして排出されていた熱エネルギーを掃除機本来の吸引エネルギーとして効率的に使用することが可能になりました。その結果、エネルギー効率が向上し、掃除機の省エネルギーに貢献しているのです。家電製品の省エネルギー化が日々追求されている中、掃除機についても同様に、高速回転に耐え、かつエネルギー効率の高い、高性能のブラシが求められており、これらの要求に対応すべく開発・設計した当社のカーボンブラシが高い評価を受け、国内外で多数使用されています。

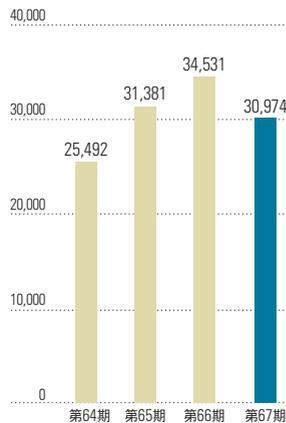
当社のカーボンブラシは家庭用掃除機以外にも、電動工具、自動車用燃料ポンプ、フォークリフト、ゴルフカート、工場の電力用モーター等に使用されていますが、風力発電の発電機にも使用される等、家電製品、工業用品また環境関連製品等様々な用途で使用されています。

このようにカーボンは、私たちの生活から産業に至る幅広い分野を影ながらもしっかりと支えています。



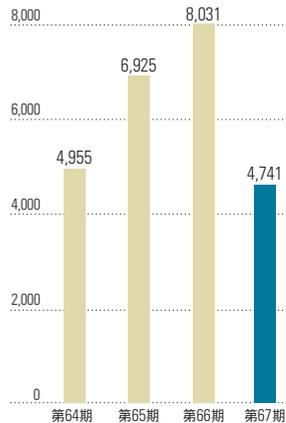
売上高

(百万円)



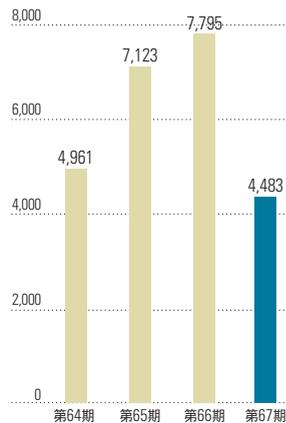
営業利益

(百万円)



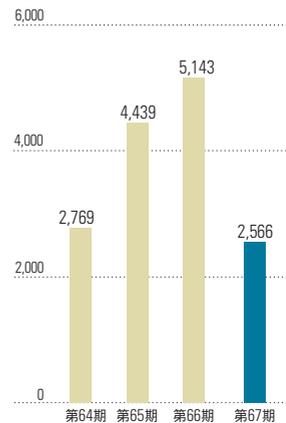
経常利益

(百万円)



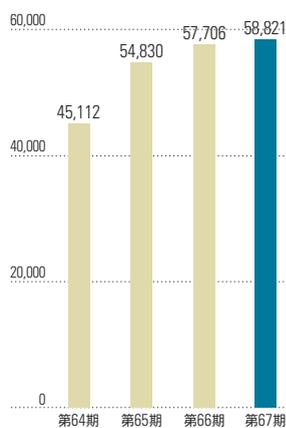
当期純利益

(百万円)



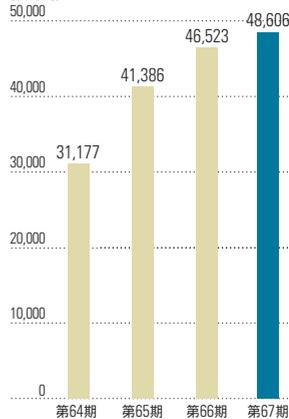
総資産

(百万円)



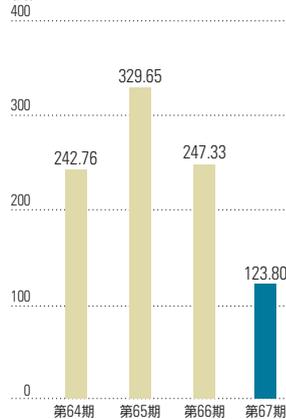
純資産

(百万円)



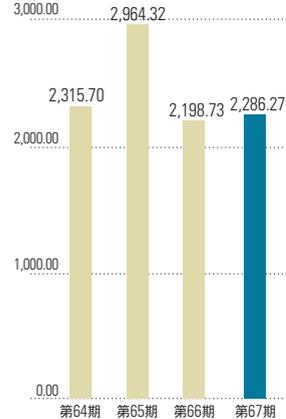
1株当たり当期純利益

(円)



1株当たり純資産

(円)



(※)当社では、第66期(平成19年6月1日)に1:1.5の株式分割を行っております。

連結業績概要

当連結会計年度の日本経済は、原材料価格や為替の変動の影響に加えて、米国に端を発した金融危機深刻化の影響が实体经济に波及し、設備投資や輸出が急減する等、特に後半にかけて景気は急速に悪化しました。また欧米の景気後退と相まって、中国等の新興国も含めて世界規模で需要が大幅に減退し、総じて世界同時不況の様相を呈するに至りました。このような状況の中、当企業グループは、太陽電池用をはじめとする環境・エネルギー関連分野を中心に国内外の需要の取り込みに全力を注ぎ、前半までは好調を維持しましたが、後半に入り各用途・地域・企業におよんだ急激かつ大幅な生産・在庫調整の影響を受けることとなりました。

	ご参考		
	当期 (平成20年6月1日から 平成21年5月31日まで)	前期 (平成19年6月1日から 平成20年5月31日まで)	対前期比
売上高	30,974百万円	34,531百万円	△10.3%
営業利益	4,741百万円	8,031百万円	△41.0%
経常利益	4,483百万円	7,795百万円	△42.5%
当期純利益	2,566百万円	5,143百万円	△50.1%

事業内容

■ 特殊黒鉛製品

特殊黒鉛製品は主に等方性黒鉛材料を使用しています。エレクトロニクス分野では単結晶シリコン製造用、化合物半導体製造用、太陽電池製造用等に使用されており、一般産業分野では金属溶解等の冶金関連や各種工業炉向けの高温発熱体および炉内構造物、金型製造時の放電加工電極等に使用されています。このほか、原子力、宇宙航空、医療用分野等幅広い分野で使用されています。



ヒーター



連続鋳造用ダイス

■ 一般カーボン製品

主に従来の成形法で製造された炭素材料を使用しています。機械用カーボン分野では、一般産業機械用においてポンプやコンプレッサの軸受け等の摺動部品、気体や液体のシール材として使用されており、輸送機器用において、鉄道のパンタグラフ用すり板として主に使用されています。電気用カーボン分野では掃除機や電動工具等の民生用途における小型カーボンブラシや、産業用途における大型カーボンブラシに使用されています。



ベアリング



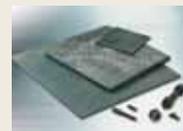
パンタグラフ用すり板

■ 複合材その他製品

等方性黒鉛材料を基材に他の材質をコーティングした複合材料であるSiCコーティング黒鉛製品のほか、カーボンとカーボンファイバーとの複合材料であるC/Cコンポジット製品、天然黒鉛を原料とする黒鉛シート等を製造販売しています。



エピソードター



C/Cコンポジット製品(2次元織タイプ)

主要製品



るつぼ



封筒用治具



放電加工用電極



原子力用炉心材



パッキン



シールリング



大型ブラシ



小型ブラシ



MOCVDサセプター



工業用ガasketおよびシール材



C/Cコンポジット製品(るつぼ)



C/Cコンポジット製品(角型るつぼ)

事業概況

エレクトロニクス分野は、単結晶シリコン製造用途が半導体市況の急激な冷え込みを受け一段の調整を余儀なくされたことに加えて、前半まで高成長を続けてきた太陽電池製造用途も、牽引役の中国需要が後半に入り落ち込む等、唯一拡販が進んだポリシリコン製造用途を除き、需要は月を追って減少傾向となりました。一般産業分野は、各業界における世界的不振を背景に放電加工電極や冶金用途が調整色を強める等、各用途おしなべて低迷いたしました。

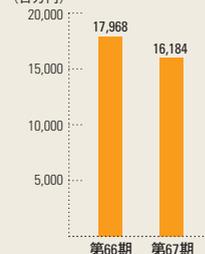
機械用カーボン分野は、景気変動の影響の小さいパンタグラフ用すり板は健闘したものの、一般設備投資の減少を受けて主力の軸受け・シール材等が振るわず、総じて低調に推移いたしました。電気用カーボン分野は、主力の家電小型モーター用カーボンブラシが、欧米経済の低迷の影響を受け一大集積地である中国市場を中心に調整を余儀なくされました。

SiCコーティング黒鉛製品は、LED等の光デバイス関連が悪いながらも底堅さを見せたものの半導体関連の落ち込みが大きく、苦戦を強いられました。C/Cコンポジット製品は300mmウエハー製造用大型るつぼが後半に入り大幅調整を余儀なくされましたが、太陽電池用途での市場開拓が奏功し、全体として底堅く推移いたしました。黒鉛シート製品は、自動車・半導体業界の不振を背景に需要は後半に入り縮小いたしました。

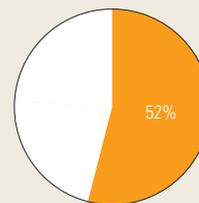
売上高・売上高構成比

特殊黒鉛製品の売上高

(百万円)

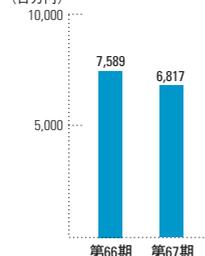


第67期 売上高構成比

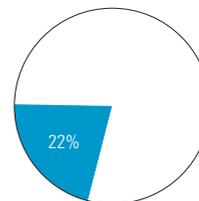


一般カーボン製品の売上高

(百万円)



第67期 売上高構成比

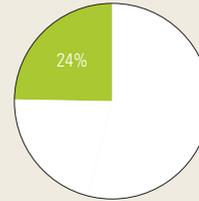


複合材その他製品の売上高

(百万円)



第67期 売上高構成比



ポイント解説

POINT ① 資産

売上高減少にともなう受取手形および売掛金2,734百万円の減少、過少となっていた中間在庫の積み増し等による棚卸資産2,295百万円の増加、製造設備の増設等による有形固定資産1,938百万円の増加等により、資産合計は1,114百万円の増加。

POINT ② 負債・純資産等

支払手形および買掛金583百万円の減少、製造設備の増設等にともなう未払金726百万円の増加、役員退職慰労金の支払い699百万円等により、負債合計は968百万円の減少。
当期純利益2,566百万円の計上等により、純資産合計は2,083百万円の増加。

POINT ③ 損益

売上高は3,556百万円減少、販売・生産の落ち込みによる限界利益減に加え、原料価格の高止まり、減価償却費の増加ならびに円高の影響等により営業利益3,290百万円減少、経常利益3,312百万円減少、当期純利益2,576百万円減少。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	当期末 (平成21年5月31日現在)	前期末 (平成20年5月31日現在)
資産の部		
流動資産	33,608,646	32,982,561
固定資産	25,212,415	24,723,995
有形固定資産	23,208,341	21,269,806
無形固定資産	379,167	376,647
投資その他の資産	1,624,906	3,077,541
資産合計	58,821,061	57,706,556
負債の部		
流動負債	9,148,554	9,462,020
固定負債	1,065,661	1,720,938
負債合計	10,214,216	11,182,958
純資産の部		
株主資本	48,027,055	45,731,968
評価・換算差額等	△ 622,241	△ 125,598
少数株主持分	1,202,030	917,228
純資産合計	48,606,845	46,523,598
負債・純資産合計	58,821,061	57,706,556

連結損益計算書(要旨)

(単位：千円)

	当期	前期
	(平成20年6月1日から 平成21年5月31日まで)	(平成19年6月1日から 平成20年5月31日まで)
売上高	30,974,306	34,531,125
売上原価	20,057,671	20,315,595
売上総利益	10,916,634	14,215,530
販売費及び一般管理費	6,175,405	6,183,597
営業利益	4,741,228	8,031,932
営業外収益	267,684	249,456
営業外費用	525,515	485,729
経常利益	4,483,397	7,795,659
特別利益	182,773	442,701
特別損失	50,430	75,898
税金等調整前当期純利益	4,615,740	8,162,461
法人税、住民税及び事業税	1,137,750	2,558,886
法人税等調整額	556,882	103,687
少数株主利益	354,221	356,231
当期純利益	2,566,886	5,143,656

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

	当期	前期
	(平成20年6月1日から 平成21年5月31日まで)	(平成19年6月1日から 平成20年5月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,105,453	6,635,243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,420,016	△ 5,924,101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 568,307	△ 1,753,573
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 196,656	△ 101,182
現金及び現金同等物の増減額 (△減少額)	△ 4,079,525	△ 1,143,613
現金及び現金同等物の期首残高	10,491,890	11,558,559
新規連結子会社の現金及び 現金同等物の期首残高	—	76,943
現金及び現金同等物の期末残高	6,412,364	10,491,890

連結株主資本等変動計算書(要旨) (平成20年6月1日から平成21年5月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成20年5月31日残高	7,692,575	9,534,686	28,558,305	△ 53,599	45,731,968	△ 125,598	917,228	46,523,598
連結会計年度中の変動額								
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減			42,627		42,627			42,627
剰余金の配当			△ 311,028		△ 311,028			△ 311,028
当期純利益			2,566,886		2,566,886			2,566,886
自己株式の取得				△ 3,397	△ 3,397			△ 3,397
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 496,643	284,802	△ 211,840
連結会計年度中の変動額合計	—	—	2,255,858	△ 3,397	2,252,459	△ 496,643	284,802	2,040,618
平成21年5月31日残高	76,925,575	9,534,686	30,856,790	△ 56,997	48,027,055	△ 622,241	1,202,030	48,606,845

グローバル化の進展によりアジアを中心に海外売上高が拡大。 海外売上高比率56.7%

世界に広がる
東洋炭素のネットワーク

- 本社および海外拠点
- 海外代理店



事業拠点 (平成21年5月31日現在)

□ 国内事業所

本社・大阪営業所・海外営業部

東京営業所

東北営業所

つくば営業所

北陸営業所

静岡営業所

名古屋営業所

広島営業所

四国営業所

九州営業所

近藤照久記念東洋炭素総合開発センター

東洋炭素生産技術センター

詫間事業所

萩原工場

いわき工場

□ 国内関係会社

東炭化工株式会社

大和田カーボン工業株式会社

□ 海外主要関係会社

TOYO TANSO USA, INC. (アメリカ)

GTD GRAPHIT TECHNOLOGIE GmbH (ドイツ)

TOYO TANSO EUROPE S.p.A. (イタリア)

TOYO TANSO FRANCE S.A. (フランス)

SHANGHAI TOYO TANSO CO., LTD. (中国)

SHANGHAI YONGXIN TOYO TANSO CO., LTD. (中国)

SHANGHAI TOYO TANSO INDUSTRIAL CO., LTD. (中国)

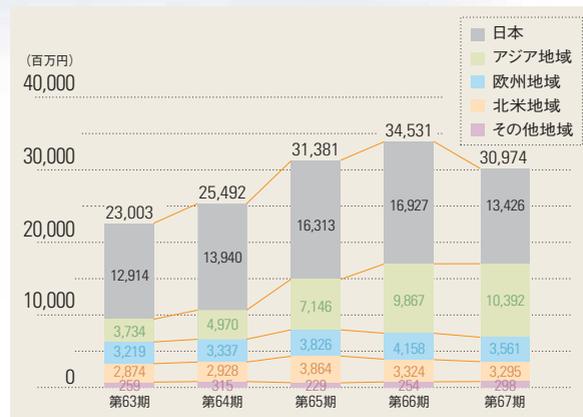
JIAXIANG TOYO TANSO CO., LTD. (中国)

TOYO TANSO TAIWAN CO., LTD. (台湾)

TOYO TANSO KOREA CO., LTD. (韓国)

TOYO TANSO (THAILAND) CO., LTD. (タイ)

地域別の売上高



株式の状況

(平成21年5月31日現在)

発行済株式の総数	20,750,688株
単元株式数	100株
株主数	9,930名

大株主

(平成21年5月31日現在)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
近藤純子	2,792	13.45
近藤照久	2,503	12.06
近藤朋子	1,560	7.52
近藤尚孝	1,214	5.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,139	5.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	923	4.44
財団法人近藤育英会	834	4.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	556	2.68
近藤孝子	533	2.56
株式会社みずほ銀行	360	1.73
株式会社三菱東京UFJ銀行	360	1.73
株式会社百十四銀行	336	1.61

会社概要

(平成21年5月31日現在)

設立	昭和22年7月31日
本社	〒530-0001 大阪市北区梅田3-3-10 梅田ダイビル10階
資本金	7,692,575,648円
従業員数	960名(単体) 1,974名(連結)

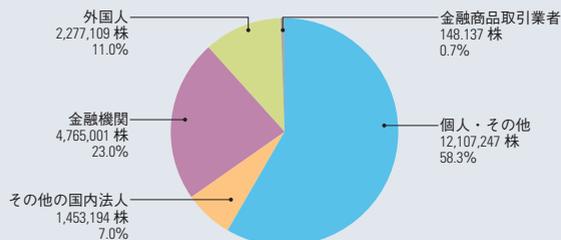
役員

(平成21年8月28日現在)

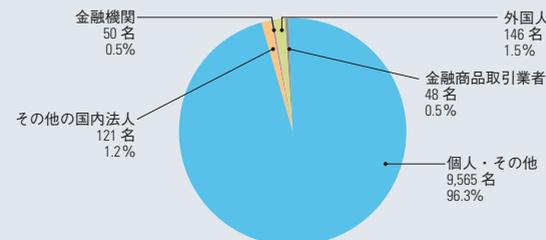
代表取締役会長	近藤純子
代表取締役社長	近藤尚孝
専務取締役	中原全生
取締役	松本強資
取締役	三木相煥
常勤監査役	加藤澄雄
監査役	福井進吾
監査役	江戸忠
監査役	田辺陽一

(注) 監査役 福井進吾氏、江戸忠氏および田辺陽一氏は社外監査役です。

所有者別株式数分布状況



所有者別株主分布状況



株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月
基準日	
定時株主総会	毎年5月31日
期末配当	毎年5月31日
中間配当	毎年11月30日
公告方法	当会社の公告方法は、電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
電子公告掲載 ホームページアドレス	http://www.toyotanso.co.jp
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜二丁目2番21号 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 (証券代行事務センター)
電話お問い合わせ先	電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
上場証券取引市場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	5310

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

東洋炭素株式会社

<http://www.toyotanso.co.jp>